

毎日新聞をご愛読いただきありがとうございます

2月12日(日)は新聞製作が休みのため

13日(月)の朝刊は

休ませていただきます

毎日小学生新聞 スポニチ も休ませていただきます

なお、スポニチは主要駅の売店などで販売しています

★ニュース速報は、毎日新聞のニュースサイトでご覧いただけます
URL: https://mainichi.jp/

2月13日のテレビ・ラジオ番組欄は12日の朝刊に掲載します

毎日新聞社・毎日新聞販売所



とうぶまいにち

2月12日(日曜日)
2023年(令和5年)

発行元 埼玉中部毎日会第3支部
発行所 埼玉県越谷市宮前1-5-19
(毎日新聞越谷東部販売所内)
TEL 048-967-4515
FAX 048-967-4516
編集長 飯嶋英好
発行部数 50,000部
発行エリア 三郷市・草加市・八潮市
吉川市・越谷市・松伏町

次号3月は12日(日)発行予定



仕事に集中できて、家族も感じられる。はなれ”という手があったとは。

体感すまいパーク越谷

体感すまいフェア 予約来場特典 WEBサイトからの初めの予約来場でプレゼント! amazon gift card
2022.12.21(水)~2023.3.20(月)
第1弾 2022.12.21(水)~2023.2.20(月)
平日がお得! 6,000円分 平日 4,000円分 土日祝

体感すまいパーク越谷
コジマ ビックカメラ サイゼリヤ マクドナルド エネオス
【産業道路沿い、サイゼリヤ越谷南町店横】
住まい価値創造企業 POLUS
ポラスグループ
ポラスの注文住宅

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷 1-21-2 TEL 048-989-9119
宅建業免許:国土交通大臣(4)第7081号 建設業:国土交通大臣許可(特-1)第14631号(ポラテック株)



中原 恵人氏



加藤 克明氏

2月19日投開票 吉川市長選
現職と新人の一騎打ちか

任期満了に伴う吉川市長選は2月12日告示され、同19日に市内19カ所で投票される。開票は同夜8時50分、市総合体育館で即日開票される。12月1日現在の有権者数は5万9390人(男2万9479人、女2万9911人)。

出馬を表明しているのは、いずれも無所属で、3期目に挑戦する現職の中原恵人氏(5

2)と元市議会議長の加藤克明氏(55)の2人。いまのところ(2月1日現在)、現職対新人の一騎打ちで争われる公算が大きい。

中原氏は市民との「共働」によるまちづくりの実績を強調。一方、加藤氏は首都近郊としてのまちの躍進を掲げる。市長選と同時に市議補選も実施される。



税のよろず相談所です

Life & Company Assist

税理士法人

L&Cアシスト

草加市住吉1-4-12-101

048(924)9244



ふらり秩父路 冬の使者

2023・02・12



完成した松原児童青少年交流センター「ミラトン」

松原児童青少年交流センター「ミラトン」オープン 1月4日 草加市

7年前に閉館した松原児童館に替わる施設として、草加市は1月4日、青少年活動・多世代交流・文化芸術を備えた松原児童青少年交流センター(松原4)をオープンさせた。

鉄筋コンクリート造り2階建て延べ1414平方メートルで、ホール・音楽室・ダンス室・創作工房・おやこルームなどを完備。アーチ状の建物が連なり、室内や壁の仕切りを減らし、多様な用途に対応させたのが特徴。

1月7日の開所式で、愛称「ミラトン」を命名した外村陽子さんに感謝状が贈られた。松原テニスコートもオープンした。

秩父盆地は連日氷点下5度前後の最低気温が続く。この寒さを待ちわびていたのが皆野町の「阿左美冷蔵」。県内唯一の天然氷製氷店として知られる。通年を通して県内外から沢水を自然凍結させた氷を使ったかき氷を求め多数の行楽客らが訪れる。

切り出しは気温にもよるが毎年1月に入ると行われる。長瀬町本野上の宝登山ろく北側に作られた製氷池が切り出し場。近くを流れる高野沢から広さ約300平方メートルの製氷池2面に水を引き込み自然凍結を待ち、厚さが15センチ前後になると切り出しを始める。

エンジンが付いた円形のこぎりを

使い横70センチ、縦50センチほどの大きさに切り分ける。氷は素早くトラックで3キロほど離れた自宅の大型氷室に運び込まれ「かき氷」として長瀬、皆野町の2カ所にある店で通年を通して販売。夏は店頭で列ができるほど。「頭が痛くならない」「滑らか」など天然氷の人気は高い。

凍て付く秩父には冬の贈り物がまである。「秩父三大氷柱」と呼び、渓谷を飾る氷柱の見所が3カ所点にある。

その一つ目が秩父市大滝の「三十槌(みそつち)の氷柱」。荒川右岸の崖壁から湧き出る清水が極寒の寒さの中で氷柱に。自然が作り出す氷の芸術は高さ10メートル、幅50センチほど。暖冬の影響なのか滴り落ちる清水が何らかの原因で減少したのかかわからないが、長年見てきて年々小型化しているように感じる。2月23日まで(天候により短縮も。連夜ライトアップ)。

小鹿野町の「尾ノ内氷柱」は商工会などが実行委員会を組織して人工的に尾ノ内沢から水を引き散布して岸壁を氷で覆い、自然に負けない氷柱群を作り出した。特に沢を跨いだ吊り橋からの眺望は見応えがある。2月26日まで(短縮も。ライトアップは2月19日までの土日夜間)。

西武鉄道の芦ヶ久保駅から徒歩15分ほどの近場にあるのが横瀬町の「あしがくぼの氷柱」。9年ほど前に町観光協会が地元協力を得て氷柱群を整えた。遊歩道整備など県も加わり周辺を整備。「兵の沢」から導水。スプリングクラーなどを使い二子山北側の渓谷斜面に散水を続け自然凍結させた。2月23日まで。(短縮も。ライトアップは期間中の金土日祝日の夜間。金曜以外要予約)。

岡崎 ひろし(元毎日新聞記者・秩父ネイチャークラブ役員)

スローガンは「国際貢献」

ミャンマー難民を雇用

4月から草加商工会議所

草加商工会議所(野崎友義会頭)は、政府が第三国定住制度により受け入れる難民12人を会議所会員の事業所で雇用する方針を打ち出した。会議所が掲げる難民の雇用を通しての社会貢献の一環。12人はいま、定住支援プログラムに沿って日本語や日本文化・社会制度を勉強中で、4月から草加、八潮市内で就労する。商工会議所挙げての難民雇用は、全国でも例の少ない試み。

12人の難民は、ミャンマーなどから第三国のマレーシアに避難した人たち。公益財団法人「アジア福祉教育財団難民事業本部」(RHQ)の支援で第三国定住難民第12陣として昨年9月に来日した。内訳は20歳~30歳代の単身者ばかりで、出身国はミャンマー11人、イラク1人。

受け入れるのは、草加商工会議所の会員である製造・流通・サービス業界の6事業所。すでに難民の人と事業所との間で職場見学、

面接を終了。4月から就労し始め、適性をへて半年後の10月より正式採用される。給与を含む雇用条件は日本人と全く同じ。RHQ主催のプログラム終了を待つ事業所側はいま、社員寮やアパートなど難民の住まい探しに取り組む。

草加商工会議所自らも20代のミャンマー人女性を雇用する。英語が堪能で、市内で働く同じ難民や外国人労働者の相談窓口を担当予定。「一日も早く仕事に慣れ、労働対策分野で活躍して欲しい」と山崎修専務理事は期待する。

難民受け入れについて、野崎会頭は「ウクライナ避難民をはじめ、アフガニスタンやミャンマーなど縁あって日本を頼ってきた多くの方々の存在を知り、自分たちにもできる貢献が何かないと模索してきた」と述べ、「今回の『第三国定住難民の受け入れ』という結果に結びついてことで、地域の中小企業1社1社が力を合わせれば、大きな国際貢献ができることを証明していきたい」と、国際貢献としてのさらなる雇用継続に意欲を示す。

2019年度に草加市から産業労働力創出事業を受託した商工会議所。就職面接会を実施したり、求人企業の魅力発信サービスを展開してきたが、人手不足の抜本的な解決には至っていない。今回の第三国定住難民の雇用が社会貢献と外国人材の確保という両面から成果を上げることが期待しているという。

総合建設業 新築工事 リフォーム 土木工事全般

池中建設株式会社

越谷市東越谷7-141 ☎048-964-3611

<http://www.ikenakakensetsu.co.jp>

ISO9001(品質)/ISO 14001(環境)認証取得
明日の夢を創る

TAKAMOTO 高元建設株式会社

代表取締役 高橋和彦

〒343-0811 埼玉県越谷市御殿町2番11号 TEL048-966-1661(代)
FAX048-962-1661 ホームページ <http://www.takamoto-cnst.co.jp/>



「浅見神社」

年の初めの2日、市内にある浅見神社へ初詣に出かけた。ここ数年、当人の高齢化に伴い、恒例化した年頭行事で、今年も無病息災、世界平和など、申し訳ないお賽銭で、あれこれと願掛けして来た。

浅見神社は、別府市民であれば、ほぼ知っている存在だが、市外に住む人には、認知度が低い。JR別府駅から歩いて20分弱の山側にあり、今年で創建827年。昨年放送された大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の舞台となった鶴岡八幡宮から、御分霊を受けたのが始まりで、仁徳天皇や応神天皇など八柱が祀られている。

それとは別に、大正時代に創建された「温

泉神社」が、戦後に御神体と神輿が浅見神社に合祀されたことで、同神社は別府温泉の守護神にもなっている。

境内には、樹齢千年を超える大楠や、夫婦で二本の木の間を通ると絆がより強くなる、と言われている夫婦杉、参拝の時に参道の石畳に隠された、ひょうたんの形と杯の絵柄の石を見つけて踏むと、縁起が良いという言い伝えもある。

まだ飲んだことはないが、「萬太郎清水」は健康長寿の湧き水として知られ、近所の住民だけでなく市内各地から車に乗って汲みに来るほどだ。

初詣に参拝した浅見神社社殿



鈴木 源柱(専業主夫・フリーライター)

参拝後は、お神籤を引くのが慣例なので、今年も昨年と同じ財布に入る打ち出の小槌や小判、宝船などの縁起物が入った神籤を手にとろうとした時、その手が一瞬止まってしまった。

昨年は200円だったのが、なんと今年は300円。このご時世、記録的な物価の値上がりにも、多少なりとも耐性はできているつもりだったが、お守りのお神籤にも値上げの嵐が吹き付けていたのは…。

む、待てよ。参拝の時に投じたお賽銭は昨年と同じ金額。賽銭の値上げをしなかったことに、神様は怒ってはいないだろうか。もしかしたら、願い事が割引されてしまったのではないかと、帰宅後にあれこれ考えてしまった。いやはや、新年早々愚にも付かぬことを…。



熱いラテンジャズの演奏に、会場を埋めた聴衆は大喜び

みんないっしょに楽しもう!

ニューイヤー 草加わっぱまつり 草加市 草の童の会

体が不自由な人もそうではない人も、子どもも大人もいっしょに楽しもうと、草加市文化会館ホールで1月7日、「ニューイヤー 草加わっぱまつり」が開かれた。主催はNPO法人子ども広場草加おやこ劇場内にある「草の童の会(くさのわっぱのかい)」。

入場は無料。

序章に登場したのが、市内の保育所などに勤める保育士さんで構成する「草加保育魂」のメンバー。「ソーレ ドドン ドドン」。揃いの半纏姿

で勇壮に太鼓を打ち叩く。「三宅太鼓草加教室」に所属する子どもも加わり、ワッショイワッショイと場内が熱気に包まれた。

一転して、プロの演奏集団「エルスウイング」の登場。サクソ、ピアノ、ベース、パーカッション…。名曲「枯葉」などをラテンジャズ風におしゃれに演奏した。

幕間には、太っちょのお笑い芸人こと「クラウンじんごろう」さんがジャグリングや手品を披露、笑いを誘った。

第48回企画展「日々を装う」

3月12日(日)迄 八潮市資料館

身近な衣服をテーマとした企画展「日々を装う」が八潮市資料館で開催されている。3月12日(日)まで。入場無料。

生活様式が変わっても衣服を着るという行為は不変。人々はいつどのように装い、また装いを作ってきたか。その服飾文化を見つめ直すことが企画展の目的という。

構成は、和服から洋服へ変化する第1章▽晴れ着や仕事着を装う場面及び衣服の手入れを紹介する第2章▽養蚕・染色など装いを彩った産業を扱う第3章。

2月25日午前11時から型染めの体験講座(定員20人)があり、2月14日から申込を受け付ける。野良着試着も。資料館(048・997・6666)へ。

本郷屋斎場

草加市市民福祉葬(市民限定) 実質0円

別館1日葬(ワンデー) 家族葬 29.9万円(税込)

本館1日葬(ワンデー) 家族葬 49.9万円(税込)

きれいな街づくり

エスシーエス株式会社

代表取締役社長 野崎 友義

埼玉県草加市青柳2-19-10
TEL 048-936-1234
FAX 048-936-3344
URL <http://www.scs-kk.co.jp/>

スライドドア車 食品リサイクル車 一般商業物収集運搬車



第10回 2023

国指定名勝 草加松原 太鼓橋 ロードレース大会 3月12日(日) 雨天決行

早春の草加路を走る「第10回草加松原 太鼓橋ロードレース大会2023」が3月12日、草加小をスタート・ゴールの特設コースで行われる。実行委・草加市主催、毎日新聞社後援で、4年ぶりの開催。コロナ禍の影響から人気の「仮装の部」が見送られ、今大会から「車いすの部」が新設された。大会事務局の担当者は「コロナ感染防止に配慮しながら、障がいのある無にかかわらず、幅広い人にスポーツを楽しんでもらいたい」と話す。参加者に「草加せんべい味比べセット」がプレゼントされる。

各部門の距離と定員は、▽車いすの部 小2と保護者各150組、20人▽松並木の部 10キロ、新設の「車いすの部」は競技向けの車いすは不可。コースは草加小前〜神明1丁目交差点(志免屋親子の部 1・2キロ、前)間(250キロ)の旧日光街道を往復する。
5歳以上の未就学児と保護者及び小1〜小2と保護者各150組。江戸の風情を残す旧日光街道沿いの家並みを抜け、東京近郊でまれな風光明媚な松並木を眺めながら、走るのが全国各地から集まるランナーの醍醐味となっている。
雨天決行。

草加松原を力走するランナー=第8回大会・2019年3月10日撮影

メイン種目の「松並木の部」は参加者が多いため、1組と2組に分けそれぞれ草加小前を8時45分、9時スタートする。コースは国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の矢立橋、百代橋を越え、綾瀬川護岸工事の影響で人道橋の中曽根橋から文化会館



雪の中の梅の木

大会HPは <http://www.sokafusasaramarathon.jp/>。問合せは市スポーツ振興課 048・922・2861。

大人の仲間入り 自覚と責任を誓う

20歳の節目

県東南部5市1町

成人年齢が18歳に引き下げられた民法改正後初の「成人の日」を迎え、県東南部の5市1町は従来どおり20歳を迎えた新成人を対象に式典を実施した。対象を20歳とした理由について、越谷市教委の担当者は「18、19歳は大学受験や就職シブズと重なり、適宜でない」としている。

吉川市の「成人式」は同日に総合体育館を会場に3部制で実施。事前に、市内外に住む20歳を対象にQRコードの案内状を郵送、出席の可否を電子申請してもらった。直接、会場を訪れた新成人に対しては、改めて電子申請の手続きしてもらったという。



新築工一般事 リフォーム一般事 (有)飯島工務店

代表 飯島輝男

〒340-0005 埼玉県吉川市中井三二二
Tel:048-982-1409 fax:048-982-1424

あしがき

現役記者時代の友人と年が明けてから、新年の挨拶がてら近況の話に花が咲いた。後期高齢者同士だから、話の中身は自ずと健康問題へ。「おれには不思議な『臨死体験』があるんだよ」。打ち明けた彼の話は、「都内の料亭で宴会の席を離れ、トイレで用を足した後、突然コンクリートの床に倒れてしまった。体は雲のようなものに浮き、幸せな気分と何とも言えない快感に包まれた。意識を失ったのは、3分くらい。急性アルコール中毒だろうが、その後何食わぬ顔で宴席に戻った」。故立花隆氏が「臨死体験」を著す約20年前の出来事だ。友人は続ける。「アレ以来、死は怖くなくなったよ。案外と幸せな気持ちで近けるのではないか」。

編集長 飯嶋英好



中華麺製造卸と中華料理店の展開
関東一円で愛され続けて九十年!
株式会社 珍来 総本店
事務所:〒340-0801 埼玉県八潮市八條 1512-1
TEL:048-997-3726
URL: <http://www.chinrai.co.jp>